

河合代介

JAZZオルガン・クリニック&ライブ



日本を代表する Hammond・プレイヤー 河合代介氏によるオルガンクリニックです。 Hammond・オルガンの特長を紹介しながら、JAZZ演奏のイロハや独特の奏法について学びます。また氏に大きな影響を与えたジミー・スミスのテクニックなども解説。さらに2部構成で、作曲家/編曲家としても活躍中の JAZZドラマー 大槻 “KALTA” 英宣氏とのDUOによるライブを開催致します。(ライブは入替制)

2015.11.22 (SUN)

クリニック: 16:00~17:30 【参加費 2,000円(税込)】

ライブ: 開場 18:15 開演 18:30 【参加費 2,000円(税込)】

【お得なクリニック&ライブ通し券 3,000円(税込)】

会場:
(お問合せ)

トート音楽院 梅田 ホール

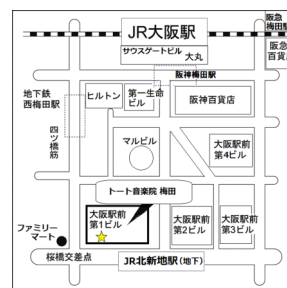
TEL: 06-6341-4639 URL: toth.co.jp

大阪市北区梅田1-3-1-100 大阪駅前第1ビル1階

JR「大阪駅」、阪急・阪神・地下鉄御堂筋線「梅田駅」からディアモール方面へ徒歩5

■営業時間: [月~金] 10:00~21:00 [土] 10:00~20:00 [日] 10:00~18:00 (隔週)

[定休日] 日(隔週)・祝祭日



河合 代介 (かわい・だいすけ)
Hammond Organ

Hammondオルガン演奏家/1965年
7月23日/愛知県豊橋市生まれ

10歳より独学で Hammondオルガンをマスターする事を志す。89年スタジオミュージシャンとしてデビュー。多数のレコーディング、ライブ・セッションに参加。04年より約10年間、吉田美奈子と Hammondオルガンのデュオで好評を博した。98年よりジャズオルガンプレイヤーとしても活動を開始。日野皓正、渡辺香津美、増尾好秋、クリヤ・マコト他多数と競演。2003年より Tommy Campbell(ds)と「Organ-EYES Session Band」を始動。2005年には Blue Note New Yorkに同セットで出演、好評を博す。現在は五輪 真弓バンドのバンドマスターとしても活躍中。



大槻 “KALTA” 英宣 (おおつき・かるた・ひでのぶ)
1970年生まれのドラマー/サウンドクリエイター。ドイツサクソフォーンとして東京に生まれ、横浜で育つ。幼少期にはエレキトーンとピアノを学び、10歳からドラムもプレイ。学生時代からプロとして活動を行なうようになり、数々のセッションに参加する。クリエイターとしてはCMからゲーム用の音楽まで手掛け、J-POPシーンにも進出。2002年には島谷ひとみのヒット曲「亜麻色の髪の乙女」のアレンジを手掛け、高い評価を得た。